

重 要

必ず内容を確認して下さい

主任介護支援専門員 更新研修

研修記録シートの取り扱いについて
～取り扱い方法～
～シートＢＣ手元控え～

※本資料は、研修時に毎回持参することをお勧めします。
※本資料に掲載している当該研修記録シートＢＣの様式に
手元控え（手書き）用として書き留めて下さい。

1 研修記録シートの提出のお願い

本研修は、厚生労働省にて定められた実施要綱及びガイドラインに沿って実施することになっています。また、実施にあたっては、受講者に対して「受講者評価」を行うよう示されており、福岡県では、県主管課と協議の結果、受講者から「研修記録シート」を提出していただくことにより「受講者評価」を行うことになりました。

「研修記録シート」は、研修受講前後を通して、各自の理解度を把握し、研修による学習効果の向上と学習後のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てることを目的として使用します。そして、受講者から提出していただいた「研修記録シート」をもとに、各担当科目講師が、「受講者評価」を行うことになります。

受講者の皆様は、当該研修記録シートを指定期限までに指定の方法で提出いただくようお願いします。

当該研修記録シートが未提出もしくはその内容に不備があった場合には、当該科目未修了となる場合もありますので、ご注意下さい。

2 研修記録シートの様式

(1) 研修記録シートA

「受講者」と「管理者」が受講に当たっての目標と評価(効果)を共有するためのシートです。

ご自身が所属する事業所上司(管理者)にも記入していただきます。ただし、該当する上司(管理者)いない場合には、未記入のままでも提出できます。

「当該研修受講前」と「研修修了3カ月後」の2回に渡って記入する様式となっています。実施団体への提出は、「当該研修受講前」欄に記入後に提出していただくことになります。

なお、「研修修了3カ月後」については実施団体への提出は求めません。ご自身の自己評価用として使用して下さい。

(2) 研修記録シートB

「受講者」が研修の「受講前」「受講直後」「研修修了3カ月後」に記入し、自己評価をするためのシートです。

科目毎にシートがあり、学ぶ内容(修得目標)に沿って自己評価を記入します。

自己評価方法は、4段階方式となっており、①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できるから選択していただくことになります。

当該科目受講前には、「受講前」の自己評価を行い、当該科目受講後には、「受講直後」の自己評価を行い、その結果を実施団体に指定期日、指定方法にて提出していただくことになります。

なお、「研修修了3カ月後」の結果については実施団体への提出は求めません。ご自身の自己評価用として使用して下さい。

(3) 研修記録シートC

「受講者」が当該科目受講後に各テーマに沿って感じた事や考えたことなどを書き留め、今後の学習方針や取り組みの検討時に見返すためのシートです。

各科目で4つのテーマが設定されており、自由記述方式で記入し、その結果を実施団体に指定期日、指定方法にて提出していただくことになります。

記入にあたっては、字数の制約などは設けませんが、全てのテーマを白紙のまま提出や「特になし」「何も学べなかった」といったような表現での提出があった場合には、再提出を求める場合がありますのでご注意下さい。

※真面目に取り組んでいただければ、その内容によって再提出を求めることはありません。

3 研修記録シートAの提出方法

【集合研修受講者】

別刷りの「研修記録シートA」の様式に必要事項を記入し、研修1日目に受付に提出して下さい。
尚、様式は、実施団体のホームページにも掲載しています。パソコンなどにて入力される方は、様式をダウンロードして使用して下さい。

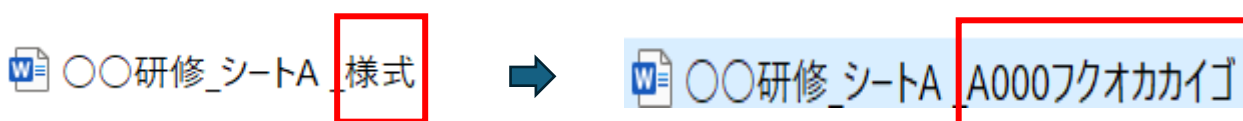
【WEB研修受講者】

以下の手順でWEBから提出して下さい

- ①「研修記録シートA」の様式(Word)ファイルを実施団体のホームページからダウンロードして下さい。

☛福岡県介護支援専門員協会

- ②ダウンロードしたファイルの名前を次のように(コース名)(受講番号)(シメイ)に変更して下さい



- ③様式(Word)に必要事項を入力して、ファイルを保存して下さい。

※管理者記入欄の入力については、「管理者に直接入力してもらう」、「管理者が書面などで記入した内容を受講者が入力する」のどちらの方法でも構いません。

- ④実施団体のホームページに掲載の専用提出フォームから研修1日目午前9時までに提出して下さい。

実施団体ホームページに専用提出フォームにつながるURLを掲載しています。

☛福岡県介護支援専門員協会

URLをクリックして専用提出フォームを開きます

★コースごとにURLは異なります。お間違いないようご注意ください。

このような
専用フォームが
表示されます

[ファイルの選択]
を押して、
研修記録シートA
をファイル添付します

4 研修記録シートBCの提出方法

【集合研修受講者】【WEB研修受講者】（共通）

以下の手順でWEBから提出して下さい

- ①当該科目受講前に「研修記録シートB」の受講前自己評価(4段階評価)を行い、結果を本紙掲載の様式に手元控え(下書き)として残して下さい。
- ②当該科目受講後に「研修記録シートB」の受講直後自己評価(4段階評価)を行い、結果を本紙掲載の様式に手元控え(下書き)として残して下さい。
※本紙を研修の度に持参し、忘れないうちに書き留めておくことをお勧めします。
- ③当該科目受講後に「研修記録シートC」のテーマ別振り返り(自由記述)を行い、結果を本紙掲載の様式に手元控え(下書き)として残して下さい。
※本紙を研修の度に持参し、忘れないうちに書き留めておくことをお勧めします。

- ④本紙の各研修記録シートBCに掲載している二次元コードから入力フォームを開き、結果を入力して当該科目受講日の翌開催日の午前9時までに送信します。

ただし、最終日の科目分については最終日翌日の午前9時までに送信して下さい。

※実施団体ホームページにも入力フォームにつながるURLを掲載しています。

→実施団体ホームページからも各研修記録シートBCの入力ができます

※最終日の科目分の研修記録シートBCの提出の確認ができない場合には、研修未修了の取り扱いとしますので、必ず、送信して下さい。

※入力フォームにご自身のメールアドレスを登録することにより入力データの控えが送信されます。

→個人の情報が送信されますので、事業所代表メールアドレス等の登録は可能な限りお控え下さい。

該当科目のURLをクリックして結果入力フォームを開きます

★科目ごとにURLは異なります。お間違いのないようご注意下さい。

このような
専用フォームが
表示されます
記録シートの結果を
入力して下さい

ここで登録した
メールアドレスに
控えが送信されます。

すべての結果を入力したら「内容確認画面へ」を押します

03.本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	テスト（見本）
04.その他、この科目で感じたことは何ですか	テスト（見本）
内容確認画面へ	

この
「内容確認画面へ」
を押します

入力内容を確認後に

「自分にも送信内容のコピーメールを送る」に

✓を入れます

★ここで✓を入れないとご自身に控えが届きません。

03.本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	テスト（見本）
04.その他、この科目で感じたことは何ですか	テスト（見本）
☐ 自分にも送信内容のコピーメールを送る。 内容に間違いがあれば「送信する」ボタンを押してください。	
前に戻る	送信する

この
「自分にも送信内容の
コピーメールを送る」
に✓を入れます

「送信する」を押せば、データ送信が完了します

次のページからは、研修記録シートB Cの手元控え（下書き）用の様式となります。

手順に沿って手元控え（下書き）用として書き残して下さい。

各研修記録シートBC一覧

※結果入力フォーム用URLは、実施団体ホームページに掲載しています

※各様式に掲載している二次元コードからも入力できます

開催日	記録シート	科目名	提出期限	備考
1日目	BC1	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向	2日目 午前9時	
1日目	BC2	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	2日目 午前9時	
2日目	BC3	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	3日目 午前9時	
2日目	BC4	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	3日目 午前9時	
3日目	BC5	ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援	4日目 午前9時	
3日目	BC6	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	4日目 午前9時	
4日目		人権研修	研修記録シートはありません	
4日目	BC7	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	5日目 午前9時	
5日目	BC8	心疾患のある方のケアマネジメント	6日目 午前9時	
6日目	BC9	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	7日目 午前9時	
7日目	BC10	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	8日目 午前9時	
8日目	BC11	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	8日目 終了の翌日 午前9時	全ての研修記録シート提出の確認ができない場合、修了証を無効とします。

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	B C 1	科目名	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向	
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします		
受講者 番号	コース名					
	下3桁 番号					
シートB		【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる 【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい				
	評価内容			受講前	受講直後	3カ月後
1	介護保険制度等の改正の内容とその理由について説明できる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	介護保険以外の制度の最新動向について説明できる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	社会資源を活用し、関係機関等との連携やネットワークの構築を実施できる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	介護保険制度や介護支援専門員を取り巻く現状、課題を踏まえ、介護支援専門員への指導・支援を実施できる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	介護支援専門員が抱える課題や取り巻く状況などを把握し、対応策の立案ができる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	介護保険制度及び地域包括ケアの動向を周知する上で、必要な情報の収集ができる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC		【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい	
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか		
2	得たことを実践でどのように活かそうですか		
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか		
4	その他、この科目で感じたことは何ですか		

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	B C 2	科目名	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理 解
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB		【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる 【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい			
	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後	
1	実践事例の意見交換・振り返りから、課題や不足している視点を認識し分析できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
2	分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導及び支援を実践できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
3	リハビリテーションや福祉用具等を活用するに当たって重要となる医師やリハビリテーション専門職等との連携方法等ネットワークづくりを指導できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
4	連携やネットワークづくりにおいて、課題や不足している視点を認識し、分析する手法及び改善方法の指導ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
5	リハビリテーションや福祉用具の活用を検討するに当たり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
6	ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりの視点を含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
7	リハビリテーションや福祉用具の指導をする上で、必要な情報を収集できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		

シートC		【自由記述】 当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	B C 3	科目名	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします		
受講者 番号	コース名					
	下3桁 番号					
シートB		【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる 【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい				
	評価内容			受講前	受講直後	3カ月後
1	高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解に基づいたケアマネジメントの実践について介護支援専門員に対する指導・支援を実施できる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導できる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、地域で特に必要とされる支援内容の傾向や社会資源の不足等について、地域ケア会議等への提言ができる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	適切なケアマネジメント手法の考え方に基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。			① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC		【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい	
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか		
2	得たことを実践でどのように活かそうですか		
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか		
4	その他、この科目で感じたことは何ですか		

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	B C 4	科目名	看取り等における看護サービスの活用に関する事例
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB		【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる 【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい			
	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後	
1	実践事例の意見交換・振り返りから、課題や不足している視点を認識し、分析できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
2	分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導及び支援を実践できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
3	看護サービスを活用するにあたって重要となる医師や看護師等との連携方法等ネットワークづくりを指導できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
4	連携やネットワークづくりにおいて、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
5	看護サービスの活用を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
6	ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
7	看取り等における看護サービスの活用事例を指導する上で、必要な情報を収集できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		

シートC		【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	BC 5	科目名	ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB		【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる 【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい			
	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後	
1	高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等の動向を踏まえた、実践のあり方の倫理的視点からの見直しを行うことができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
2	ケアマネジメントプロセスに関する最新の知見を踏まえた、実践のあり方の見直しを行うことができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
3	介護支援専門員に対して、ケアマネジメントを行う際の倫理的課題と対応方法について説明できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		
4	介護支援専門員が、自らの倫理的判断力を高められるような振り返りの支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④		

シートC		【自由記述】 当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	B C 6	科目名	脳血管疾患のある方のケアマネジメント
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	実践事例の意見交換・振り返りから、適切なケアマネジメント手法の考え方を踏まえつつ、課題や不足している視点を認識し分析できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	脳血管疾患のある方のケアマネジメントにおいて重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	脳血管疾患のある方への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、脳血管疾患のある方のケアマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
9	脳血管疾患のある方のケアマネジメントに関する適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】 当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
------	--------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	BC 7	科目名	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	実践事例の意見交換・振り返りから、適切なケアマネジメント手法の考え方を踏まえつつ、課題や不足している視点を認識し分析できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントにおいて重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	大腿骨頸部骨折のある方への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
9	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントに関する適切なケアマネジメント手法の考え方に基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい	
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	B C 8	科目名	心疾患のある方のケアマネジメント
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	実践事例の意見交換・振り返りから、適切なケアマネジメント手法の考え方を踏まえつつ、課題や不足している視点を認識し分析できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	心疾患を有する方のケアマネジメントにおいて重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導が・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	心疾患を有する方への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、心疾患を有する方のケアマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
9	心疾患を有する方のケアマネジメントに関する適切なケアマネジメント手法の考え方に基いた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC		【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え（下書き）用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	B C 9	科目名	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
受講日	20			手元控え（下書き）を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	実践事例の意見交換・振り返りから、適切なケアマネジメント手法の考え方を踏まえつつ、課題や不足している視点を認識し分析できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントにおいて重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	誤嚥性肺炎のリスクが大きい方への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
9	誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントに関する適切なケアマネジメント手法の考え方に基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】 当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
------	--------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	BC 10	科目名	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	実践事例の意見交換・振り返りから、適切なケアマネジメント手法の考え方を踏まえつつ、課題や不足している視点を認識し分析できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	認知症の要介護者等及び家族への支援に当たって重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	連携やネットワークづくりにおいての課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	認知症の要介護者等への支援内容等を検討するにあたり、インフォर्मアルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、認知症の要介護者等のケアマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
9	認知症の要介護者等のケアマネジメントに関する適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	日目	シート 番号	B C 1 1	科目名	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB

【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる

【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	実践事例の意見交換・振り返りから、課題や不足している視点を認識し分析できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	課題が重層的な方のケアマネジメントにおいて重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	連携やネットワークづくりにおいての課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	課題が重層的な方への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	課題が重層的な方のマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
9	課題が重層的な方のマネジメントに関する指導や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC

【自由記述】 当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	